

第19回「地域ブランド調査2024」
北海道が16年連続1位。下位との魅力度の差が縮まる

函館市が5年ぶり7度目の1位に。新幹線開通の福井県は急上昇

2024年10月13日
 株式会社ブランド総合研究所

全国で最も魅力的と評価された都道府県は16年連続で北海道。市区町村では函館市が5年ぶり7度目の1位。——株式会社ブランド総合研究所(本社:東京都港区、代表取締役:田中章雄)が実施した「地域ブランド調査2024」から、このような結果が明らかとなりました。

地域ブランド調査は、国内1,000の市区町村及び47都道府県の地域名称について、認知度や魅力度、イメージなど全90項目について質問し、各地域名称のイメージ形成や行動意向、評価等について明らかにする消費者調査です。調査はインターネットを通じて実施し、本年は全国の消費者34,813人から有効回答を得ました。調査は2006年から毎年実施しており、今年が19回目となります(都道府県の調査は2009年から実施しており、今回が16回目)。

今回の調査結果の特徴としては、今年3月に北陸新幹線が延伸開通した福井県の魅力度が上昇したほか、神奈川県や静岡県、秋田県なども上昇しました。また、都道府県の上位4位までの魅力度が低下する一方、ランキング下位で点数が上昇する県が多く、上位と下位の差が縮まってきています。

調査結果の特徴は以下の通りとなります。

都道府県の魅力度ランキング(上位10)

順位		都道府県	魅力度(点)	
2024	2023		2024	2023
1	(1)	北海道	70.8	(72.4)
2	(2)	京都府	55.6	(56.6)
3	(3)	沖縄県	49.8	(52.7)
4	(4)	東京都	48.3	(49.0)
5	(7)	神奈川県	42.6	(39.4)
6	(6)	福岡県	42.0	(40.4)
7	(5)	大阪府	38.3	(43.3)
8	(13)	長野県	34.9	(31.9)
9	(14)	静岡県	34.6	(30.6)
10	(9)	石川県	33.9	(33.4)

市区町村の魅力度ランキング(上位10)

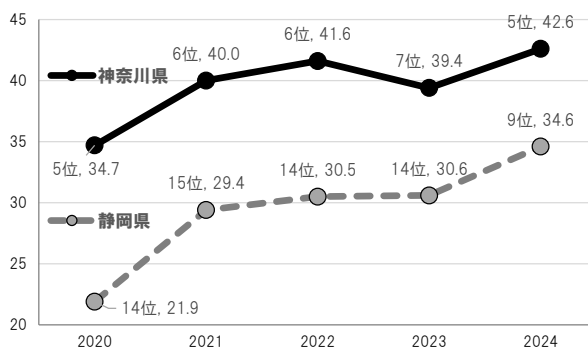
順位		市区町村	魅力度(点)	
2024	2023		2024	2023
1	(3)	函館市	58.2	(56.6)
2	(1)	札幌市	57.9	(59.4)
3	(2)	京都市	52.3	(57.8)
4	(7)	横浜市	51.8	(50.7)
5	(8)	小樽市	50.9	(50.6)
6	(4)	金沢市	48.8	(53.1)
7	(5)	鎌倉市	46.9	(52.0)
8	(14)	石垣市	46.3	(42.8)
9	(6)	神戸市	45.2	(51.8)
10	(11)	富良野市	45.0	(45.5)

神奈川県が上昇。静岡県は初のベスト10入り

今回の調査では北海道をはじめ上位の4都道府県の魅力度が低下する一方で、神奈川県が大きく点数を伸ばし、順位も5位へと上昇した。同県の5位は過去最高位タイ。横浜市の他、箱根町、横須賀市、茅ヶ崎市など、県内で市区町村の魅力度の順位が上昇している市町が多い。

静岡県は過去最高となる9位に上昇。その要因のひとつは20代からの評価が高まっていること。「ドラマや映画・アニメなど」による接触度が20代で急増しているのが特徴的だ。

神奈川県と静岡県の魅力度の推移(点)



福井は新幹線効果で上昇

11位以下で大きく上昇したのは、18位の秋田県。前年の22.4点から28.1点へと5.7点の上昇。この伸びは47都道府県で最も大きい。順位も27位から18位へと急上昇した。

同県の上昇の特徴としては静岡県と同様に20代からの評価が高まっていることで、「ドラマや映画、アニメなど」の接触度が急上昇している。「秋田犬の里」などの観光地が賑わっているようだが、実際に観光意欲度も前年より上昇している。

今年3月に北陸新幹線の金沢―敦賀間が延伸開業になったことで、大きく注目を集めている「恐竜王国」こと福井県は、魅力度が21.9点と前年の18.4点から3.5点の上昇となり、順位も38位から31位へと上昇した。同県は観光意欲度も大きく上昇している。

函館市が5年ぶり1位に

市区町村で1位になったのは函館市の58.2点で、5年ぶり7度目の1位となった。同市は「とても魅力的」が35.9%、「やや魅力的」が44.6%を占めるなど、あわせて8割以上の回答者から「魅力的」と評価されており、魅力度は前年の56.6点から1.6点の上昇となった。2位の札幌市、3位の京都市が魅力度を低下させたことで、前年1位だった札幌市は入れ替わって2位に。3位は京都市となった。

4位には横浜市が前年の7位から急上昇してランクインした。

他に魅力度の点数および順位が大きく上昇した市区町村として、8位の石垣市(前年14位)、12位の箱根町(同18位)、17位の宮古島市(同21位)、20位の伊豆市(同23位)、27位の横須賀市(同38位)、29位の草津町(同36位)、30位の茅ヶ崎市(同47位)、33位の富士河口湖市(同55位)などがある。

都道府県・魅力度ランキング

順位	都道府県	点
1(1)	北海道	70.8
2(2)	京都府	55.6
3(3)	沖縄県	49.8
4(4)	東京都	48.3
5(7)	神奈川県	42.6
6(6)	福岡県	42.0
7(5)	大阪府	38.3
8(13)	長野県	34.9
9(14)	静岡県	34.6
10(9)	石川県	33.9
11(14)	兵庫県	33.3
12(10)	長崎県	32.8
13(11)	宮城県	32.3
14(8)	奈良県	31.1
15(12)	千葉県	30.1
16(17)	広島県	30.0
17(19)	鹿児島県	29.3
18(27)	秋田県	28.1
19(22)	富山県	26.7
20(16)	愛知県	26.5
21(24)	三重県	25.9
22(20)	青森県	25.8
23(25)	大分県	25.4
24(23)	宮崎県	24.5
25(21)	山梨県	24.3
26(18)	熊本県	24.1
26(28)	香川県	24.1
28(34)	愛媛県	23.3
29(30)	和歌山県	22.9
30(26)	新潟県	22.5
31(38)	福井県	21.9
32(35)	岡山県	21.6
33(31)	山形県	21.4
34(39)	岐阜県	21.2
35(29)	岩手県	20.9
36(32)	高知県	20.5
37(33)	福島県	20.2
38(37)	島根県	19.4
39(39)	栃木県	19.2
40(36)	滋賀県	19.1
41(44)	群馬県	18.6
42(42)	徳島県	18.0
43(42)	山口県	17.3
44(41)	鳥取県	16.3
45(47)	茨城県	16.0
46(45)	埼玉県	15.2
47(46)	佐賀県	14.9
47	都道府県平均	28.0

市区町村・魅力度ランキング

順位	市区町村	点
1(3)	函館市	58.2
2(1)	札幌市	57.9
3(2)	京都市	52.3
4(7)	横浜市	51.8
5(8)	小樽市	50.9
6(4)	金沢市	48.8
7(5)	鎌倉市	46.9
8(14)	石垣市	46.3
9(6)	神戸市	45.2
10(11)	富良野市	45.0
11(12)	仙台市	44.9
12(18)	箱根町	44.4
13(9)	那覇市	44.1
14(16)	日光市	43.0
15(14)	別府市	42.5
16(10)	軽井沢町	41.8
17(21)	宮古島市	41.3
18(19)	福岡市	41.0
19(13)	熱海市	40.3
20(23)	伊豆市	40.1
21(16)	沖縄市	39.1
22(25)	名古屋市	37.3
23(20)	伊勢市	35.9
24(29)	姫路市	35.8
25(24)	屋久島町	35.4
26(22)	長崎市	35.3
27(38)	横須賀市	34.8
28(27)	宇治市	34.3
29(36)	草津町	33.8
30(47)	茅ヶ崎市	33.3
31(34)	尾道市	33.2
32(36)	帯広市	32.9
33(55)	富士河口湖町	32.7
34(26)	浦安市	32.6
35(33)	釧路市	32.2
36(45)	渋谷区	31.6
37(43)	太宰府市	31.4
38(54)	登別市	31.2
39(32)	旭川市	31.1
39(45)	志摩市	31.1
39(47)	松本市	31.1
42(28)	倉敷市	30.8
42(41)	奈良市	30.8
44(30)	大阪市	30.6
44(55)	下関市	30.6
44(62)	出雲市	30.6
47(44)	浜松市	30.4
47(58)	二セコ町	30.4
49(47)	千歳市	30.1
49(52)	逗子市	30.1
49(55)	下呂市	30.1
49(60)	広島市	30.1
1000	市区町村平均	10.8

<都道府県結果 主要な指標の上位結果（10位まで）>

地域ブランド調査 2024 における魅力度以外の主な指標の上位 10 位までのランキングは以下の通り。

()内の数字は前年(2023 年)の順位で、観光意欲度と居留意欲度に関しては前年の点数も併せて表記した。

観光意欲度

順位	都道府県名	点
1	(1) 北海道	70.9 (72.3)
2	(3) 京都府	60.6 (61.3)
3	(2) 沖縄県	59.6 (61.8)
4	(5) 福岡県	54.6 (53.2)
5	(4) 東京都	53.2 (53.7)
6	(8) 神奈川県	51.5 (48.7)
7	(6) 大阪府	50.2 (52.3)
8	(14) 長野県	49.6 (46.8)
9	(9) 石川県	49.3 (48.5)
10	(11) 長崎県	48.1 (47.8)
47 都道府県平均		42.7 (42.5)

認知度

順位	都道府県名	点
1	(1) 東京都	70.9
2	(3) 北海道	64.0
3	(2) 大阪府	61.7
4	(4) 京都府	60.8
5	(5) 神奈川県	58.1
6	(6) 千葉県	56.3
7	(7) 愛知県	54.5
8	(10) 福岡県	54.2
9	(9) 沖縄県	53.6
10	(8) 奈良県	53.3
47 都道府県平均		50.1

情報接触度

順位	都道府県名	点
1	(1) 東京都	72.5
2	(2) 北海道	66.4
3	(4) 京都府	62.2
4	(3) 大阪府	61.1
5	(18) 石川県	56.8
6	(5) 沖縄県	56.6
7	(7) 神奈川県	54.5
8	(8) 福岡県	51.2
9	(6) 千葉県	50.7
10	(15) 兵庫県	48.2
47 都道府県平均		41.8

居留意欲度

順位	都道府県名	点
1	(1) 東京都	26.2 (26.3)
2	(3) 神奈川県	24.4 (24.4)
3	(2) 北海道	22.4 (24.7)
4	(5) 福岡県	21.6 (20.8)
5	(7) 大阪府	19.8 (19.2)
6	(4) 京都府	19.7 (21.1)
7	(6) 沖縄県	18.9 (20.2)
8	(9) 兵庫県	17.0 (16.7)
9	(8) 千葉県	16.3 (16.9)
10	(10) 愛知県	16.1 (16.5)
47 都道府県平均		11.7 (11.3)

食品想起率

順位	都道府県名	%
1	(1) 北海道	49.0
2	(2) 大阪府	36.5
3	(3) 広島県	35.8
4	(4) 福岡県	35.5
5	(5) 沖縄県	35.2
6	(7) 宮城県	34.2
7	(10) 青森県	33.0
8	(11) 愛知県	31.8
9	(8) 香川県	30.7
10	(17) 山梨県	30.5
47 都道府県平均		23.1

食品以外想起率

順位	都道府県名	%
1	(1) 石川県	8.9
2	(2) 北海道	8.8
3	(3) 京都府	8.1
4	(4) 沖縄県	6.9
5	(11) 三重県	6.2
6	(6) 岩手県	6.0
6	(14) 宮城県	6.0
8	(9) 秋田県	5.8
9	(22) 神奈川県	5.6
10	(29) 群馬県	5.5
47 都道府県平均		4.0

※括弧内の数字は前年の順位・点

<市区町村結果 主要な指標の上位結果（10位まで）>

観光意欲度

順位	市区町村名	点
1	(1) 札幌市	59.2 (61.2)
2	(2) 函館市	59.0 (59.9)
3	(4) 小樽市	53.8 (53.9)
4	(6) 横浜市	52.3 (52.9)
5	(3) 京都市	52.1 (57.5)
5	(5) 金沢市	52.1 (53.6)
7	(8) 石垣市	50.1 (51.5)
8	(14) 宮古島市	49.2 (48.4)
9	(9) 那覇市	49.1 (50.9)
10	(10) 神戸市	48.5 (50.5)
1000 市区町村平均		21.3 (21.8)

認知度

順位	市区町村名	点
1	(1) 京都市	64.3
1	(2) 名古屋市	64.3
3	(4) 新宿区	60.7
4	(3) 神戸市	60.6
4	(5) 大阪市	60.6
6	(6) 横浜市	59.9
7	(9) 渋谷区	58.9
8	(7) 那覇市	58.3
9	(10) 鎌倉市	57.1
10	(11) 金沢市	57.0
1000 市区町村平均		24.6

情報接触度

順位	市区町村名	点
1	(3) 新宿区	60.6
2	(1) 京都市	60.2
3	(162) 輪島市	60.0
4	(4) 渋谷区	59.4
5	(2) 札幌市	58.6
6	(11) 金沢市	57.8
7	(5) 横浜市	56.7
8	(8) 大阪市	56.4
9	(6) 名古屋市	53.6
10	(7) 那覇市	52.9
1000 市区町村平均		16.8

居留意欲度

順位	市区町村名	点
1	(1) 横浜市	26.0 (25.8)
2	(5) 福岡市	20.8 (19.9)
3	(4) 神戸市	20.3 (21.0)
4	(2) 札幌市	19.5 (21.9)
5	(3) 京都市	18.6 (21.3)
6	(12) 世田谷区	18.4 (16.0)
7	(6) 鎌倉市	17.8 (18.9)
8	(23) 宮古島市	17.5 (14.5)
9	(8) 港区	17.4 (17.2)
10	(7) 金沢市	16.9 (18.3)
1000 市区町村平均		6.4 (6.1)

食品想起率

順位	市区町村名	%
1	(1) 夕張市	42.2
2	(2) 札幌市	38.5
3	(3) 仙台市	34.2
4	(6) 喜多方市	32.7
5	(5) 函館市	32.4
6	(9) 浜松市	31.5
7	(4) 宇都宮市	31.2
8	(8) 松阪市	30.8
9	(20) 小樽市	28.7
10	(24) 明石市	28.4
1000 市区町村平均		4.5

食品以外想起率

順位	市区町村名	%
1	(1) 今治市	16.5
2	(4) 有田町	16.0
3	(2) 鯖江市	15.4
4	(3) 輪島市	13.2
5	(9) 燕市	11.0
6	(11) 関市	10.8
7	(5) 伊万里市	10.4
8	(13) 富良野市	9.4
9	(6) 三條市	9.1
9	(12) 備前市	8.6
1000 市区町村平均		1.0

※括弧内の数字は前年の順位・点

都道府県の再調査について

今回、調査結果の検証を行ったところ、54ある調査票のうち都道府県を対象とした一部の調査票の回収データで回答者属性の大きな偏りが見受けられた。本来、調査の回収に当たっては想定している人口分布と回収票との間に多少の差異があり、それをウエイトバック等で補正を行っている。ところが、今回の調査においては、ウエイトバック値が許容量を超える値となってしまった調査票があったことから、その信頼性を確保するためにも、急きょ再調査を行うこととした。その際、一部の調査票だけ再調査すると、対象となっている都道府県によって調査期間に差が生じてしまうことになるため、都道府県を対象とする調査すべてを改めて再調査した。そのため、都道府県の調査に関しては実施時期が2024年9月3日～5日となっている(市区町村は再調査を行っていないため、2024年6月24日～7月8日)。

<調査内容>

「地域ブランド調査 2024」は、ブランド総合研究所が年1回実施している調査で、2006年にスタートし、今回が第19回目。調査対象は全792市(2024年4月末現在)と東京23区、および地域ブランドへの取り組みに熱心な185の町村を加えた計1000の市区町村、そして47都道府県です。各地域に対して魅力度など全90項目の設問を設け、地域のブランド力を、消費者が各地域に抱く「魅力」として数値化しました。

<調査概要>

- 調査方法 インターネット調査
- 回答者 20代～70代の消費者を男女別、各年代別、地域別にほぼ同数ずつ回収し、日本の縮図となるように、年齢や地域人口の分布にあわせて再集計した。
- 有効回収数 34,813人(一人の回答者に対して市区町村の調査票では20市区町村、都道府県は11または12都道府県を提示し、それぞれについて回答してもらった。
なお、地域ごとの回答者数は都道府県が平均903人、市区町村は平均624人
- 調査対象 全国1,000の市区町村(全792市+東京23区+185町村)と47都道府県
- 調査時期 市区町村:2024年6月24日～7月8日、都道府県:2024年9月3日～9月5日
- 調査項目 認知、魅力、情報接触、観光意欲、居住意欲、情報接触経路(「旅やグルメに関する番組」など14項目)、地域コンテンツの認知(「海・山・川・湖などの地理的名称」など17項目)、訪問経験(「行楽・観光のため」など6項目)、地域資源評価(「街並みや魅力的な建造物がある」など18項目)、地域の特性(「歴史・文化のまち」など14項目)、地域イメージ(「あこがれる」など14項目)、商品想起率(食品、非食品をそれぞれ自由記述)の計90項目

<調査報告書について>

総合報告書 (税込88,000円※)	1000市区町村および47都道府県の全90項目に関するデータをまとめた報告書
個別報告書 (税込55,000円※)	ご希望の市区町村・都道府県の結果を表やグラフで分析し、さらに回答者属性(年齢、居住地、ライフスタイルなど)別の結果を分析した報告書
ハンドブック (税込4,400円)	1047地域の結果に関し、8つの主要指標(認知度、魅力度、情報接触度、居住意欲度、観光意欲度、商品想起率(総合、食品、食品以外))に内容を絞った報告書

※総合報告書・個別報告書のセットは特別価格税込110,000円

<ブランド総合研究所の会社概要>

ブランド総合研究所は、地域ブランドに関する調査とコンサルティングを行う専門企業です。代表取締役の田中章雄は地域ブランドの提唱者として全国各地で地域ブランドに関する講演を行っているほか、地域ブランドアドバイザーとして弊社コンサルタントスタッフとともに全国各地で地域の活性化に取り組んでいます。

- 本社 東京都港区虎ノ門1-1-20
- 代表取締役 田中章雄
- 資本金 2500万円
- 設立 2005年11月

<問合せ先(メディアおよび読者とも)>

株式会社ブランド総合研究所
Tel. 03-3539-3011(代) Fax.03-3539-3013
E-mail: survey2024@tiiki.jp